# 広島県内中小企業
# 景況調査 結果

# 建設業の景気動向

広島県商工会連合会

**平成16年１月～３月期　実績**
**平成16年４月～６月期　見通し**

## Ⅰ．調査要領

### 1．調査時点及び調査対象期間

(1) 調査時点　　平成16年３月12日
(2) 調査対象期間　平成16年１月～３月期　実績
平成16年４月～６月期　見通しについて調査した。

### 2．調査対象

製造業、建設業については、資本金１億円以下、又は従業員300人以下の企業、小売業、サービス業については、資本金１千万円、又は従業員50人以下の企業を対象とした。

### 3．調査方法

原則として、商工会（県内14）、商工会議所の経営指導員及び中小企業団体中央会の情報連絡員が訪問面接し聴き取りによって行った。

### 4．その他

本報告書中のDIとは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で各調査項目についての増加（上昇、好転、長期化）企業割合と減少（低下、悪化、短期化）企業割合の差を示すものである。

## Ⅱ．建設業の景気動向

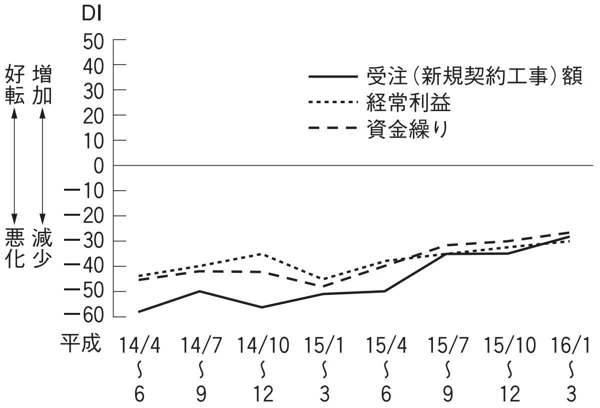
### 1．概況（前年同期比）

業況は好転傾向。

平成16年１月～３月期の業況を概観すると、前年同期と比べた受注（新規契約工事）額、経常利益、資金繰りとも好転した企業が増加、好転傾向にある。

【DI値】受注（新規契約工事）額、経常利益、資金繰りともにDI値はいずれもマイナスを示し、依然として、水面下では停滞している。

主要項目の動向（前年同期比）




### 2．１月～３月期の動向

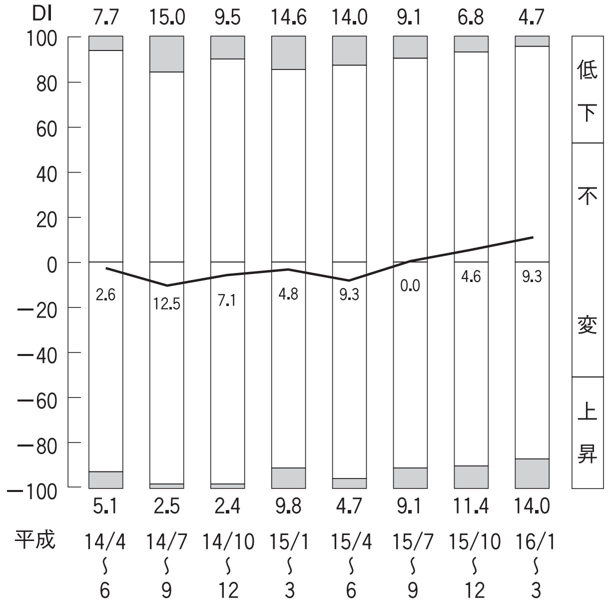
**(1) 受注（新規契約工事）額はやや増加（前年同期比）**

前年同期と比べた今期の受注（新規契約工事）額の増減状況については、増加した企業が20.9％、減少した企業が48.9％となり、DI値はマイナス28.0となり、前年同期比に比べ増加している。

**(2) 材料仕入単価は増加（前年同期比）**

前年同期と比べた今期の材料仕入単価については、上昇した企業14.0％、低下した企業4.7％、不変81.3％となっている。

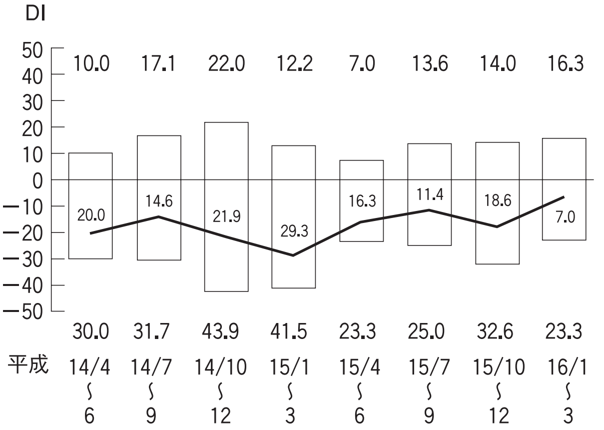
材料仕入単価の動向　折線は「上昇」－「低下」



### (3) 経常利益は増加（今期）

今期の経常利益の状況は、増加16.3％、減少23.3％で、DI値はマイナス7.0となり、前期のDI値マイナス18.6と比較して増加している。

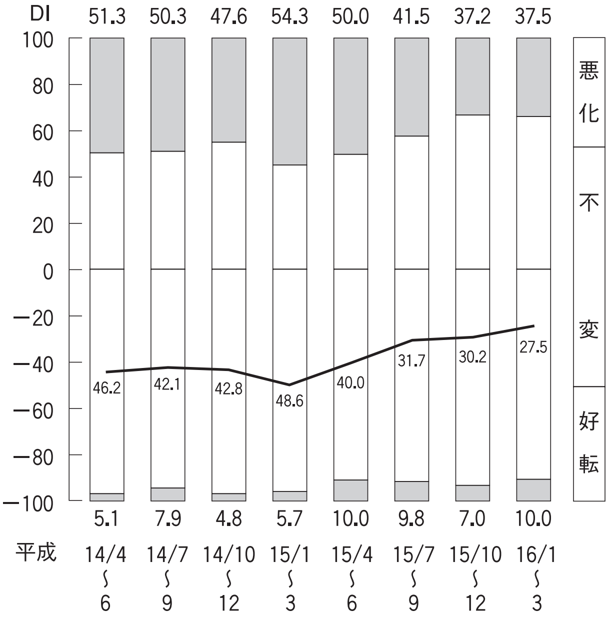
経常利益の水準　折線は「黒字」－「赤字」




### (4) 資金繰りは好転傾向（前年同期比）

前年同期と比べた資金繰りの状況は、好転した企業10.0％、悪化した企業37.5％、DI値はマイナス27.5％とマイナスとなっているが、前年同期と比べ好転傾向にある。

資金繰りの動向　折線は「好転」－「悪化」




## 3. 4～6月期の見通し

業況は横這い

今期と比べた来期の見通しについてみると、受注（新規契約工事）額が減少傾向にあるものの、経常利益、資金繰りともに微増しており、業況としては横這いである。

建設業　主要項目の来期の見通し

| 項目 | 期 | 期 | |
|---|---|---|---|
| 売上額 | 1～3月期 | 4～6月期 | DI −44.2 |
| 経常利益 | 1～3月期 | 4～6月期 | DI −35.7 |
| 資金繰り | 1～3月期 | 4～6月期 | DI −26.2 |
| 業況 | 1～3月期 | 4～6月期 | DI −31.5 |

建設　直面している経営上の問題点

| 期別順位 | 1位 | 2位 | 3位 |
|---|---|---|---|
| 平成15年 1～3月期 | 官公需要の停滞（41.0％） | 民間需要の停滞（25.6％） | 請負単価の低下（17.9％） |
| 平成15年 4～6月期 | 官公需要の停滞（42.9％） | 民間需要の停滞（26.2％） | 請負単価の低下・上昇難（19.0％） |
| 平成15年 7～9月期 | 官公需要の停滞（31.6％） | 民間需要の停滞（23.3％） | 請負単価の低下・上昇難（21.1％） |
| 平成15年 10～12月期 | 官公需要の停滞 民間需要の停滞（30.0％） | 請負単価の低下・上昇難（22.5％） | 材料費・人件費以外の経費の増加（5.0％） |
| 平成16年 1～3月期 | 官公需要の停滞（41.5％） | 民間需要の停滞（17.1％） | 請負単価の低下・上昇難（14.6％） |

広島県内中小企業景況調査結果

# 製造業の景気動向

広島県商工会連合会

平成16年１月～３月期　実績
平成16年４月～６月期　見通し

## Ⅲ. 製造業の景気動向

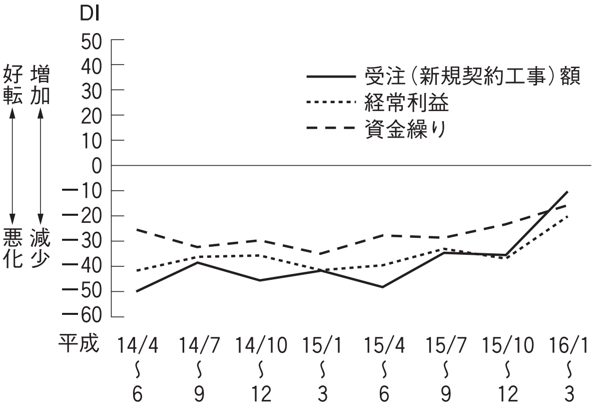
### 1. 概況（前年同期比）

業況は上昇傾向。

平成16年１月～３月期の業況を概観すると、前年同期と比べた売上（加工）額、資金繰り、経常利益ともに上昇しており、全体として業況は上昇傾向にある。

【DI値】売上（加工）額、経常利益、資金繰りともにDI値はいずれもマイナスを示しており、水面下では停滞している。

主要項目の動向（前年同期比）




### 2. １月～３月期の動向

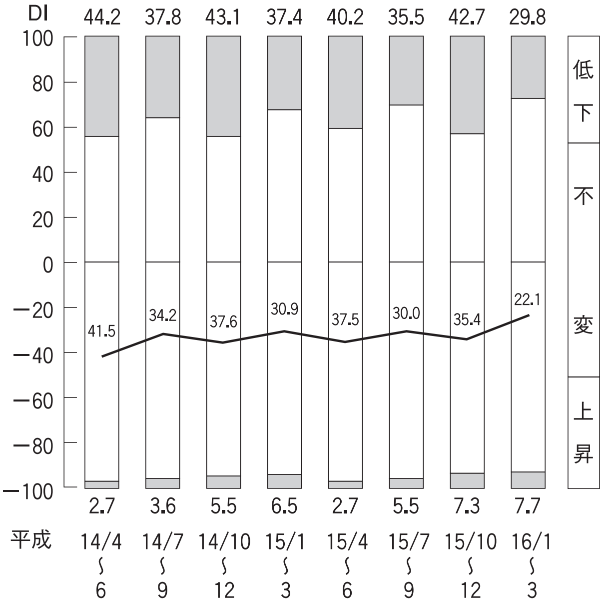
**(1) 売上（加工）額は好転傾向（前年同期比）**

前年同期と比べた今期の売上（加工）額の増減状況については、増加した企業が27.9％、減少した企業が38.4％となり、DI値はマイナス10.5％となり、好転傾向にある。

**(2) 売上（加工）単価は増加（前年同期比）**

前年同期と比べた今期の売上（加工）単価については、上昇した企業7.7％、低下した企業29.8％、不変62.5％となっている。DI値は8.8ポイント増加している。

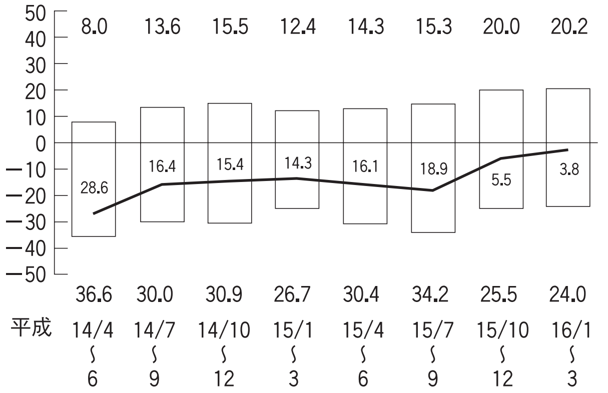
売上（加工）単価の動向　折線は「上昇」－「低下」



### (3) 経常利益は好転傾向(今期)

今期の経常利益の状況は、増加20.2%、減少24.0%で、DI値はマイナス3.8となり、前期のDI値マイナス5.5と比較して1.7ポイント増加している。

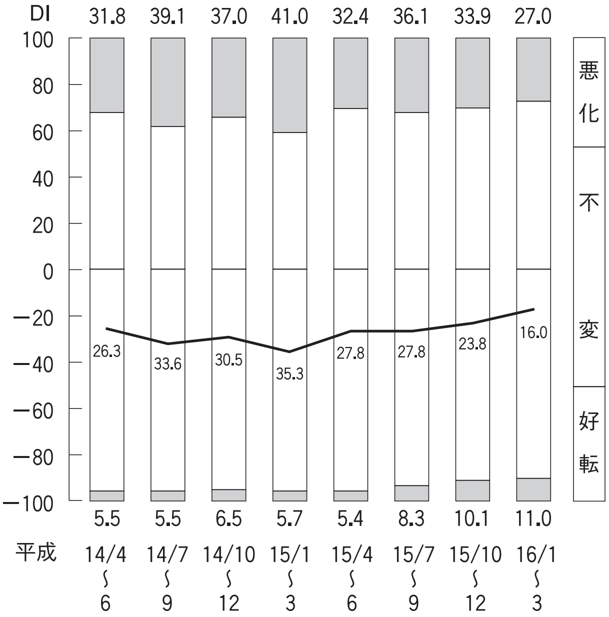
経常利益の水準　折線は「黒字」－「赤字」




### (4) 資金繰りは上昇(前年同期比)

前年同期と比べた資金繰りの状況は、好転した企業11.0%、悪化した企業27.0%となっており、DI値はマイナス16.0と上昇傾向にある。

資金繰りの動向　折線は「好転」－「悪化」




## 3. 4～6月期の見通し

業況悪化傾向

今期と比べた来期の見通しについてみると、売上(加工)額、経常利益、資金繰ともに微増傾向にあるものの、来期の業況はやや悪化との判断を示している。

製造業　主要項目の来期の見通し

| 項目 | 期 | 期 | DI |
|---|---|---|---|
| 売上額 | 1～3月期 | 4～6月期 | −11.4 |
| 経常利益 | 1～3月期 | 4～6月期 | −10.0 |
| 資金繰り | 1～3月期 | 4～6月期 | −11.9 |
| 業況 | 1～3月期 | 4～6月期 | −16.2 |

製造　直面している経営上の問題点

| 期別順位 | 1位 | 2位 | 3位 |
|---|---|---|---|
| 平成15年 1～3月期 | 需要の停滞 (35.6%) | 加工単価の上昇難 (25.7%) | 製品ニーズの変化への対応 (7.9%) |
| 平成15年 4～6月期 | 需要の停滞 (44.3%) | 加工単価の低下・上昇難 (24.5%) | 製品ニーズの変化への対応 (5.7%) |
| 平成15年 7～9月期 | 需要の停滞 (35.9%) | 加工単価の低下・上昇難 (25.2%) | 製品ニーズの変化への対応 (13.6%) |
| 平成15年 10～12月期 | 需要の停滞 (34.6%) | 加工単価の低下・上昇難 (23.1%) | 取引条件の悪化 (5.8%) |
| 平成16年 1～3月期 | 需要の停滞 (29.6%) | 加工単価の低下・上昇難 (25.5%) | 製品ニーズの変化への対応 (12.2%) |

## 広島県内中小企業景況調査結果

# 小売業の景気動向

広島県商工会連合会

平成16年１月～３月期　実績
平成16年４月～６月期　見通し

## Ⅳ. 小売業の景気動向

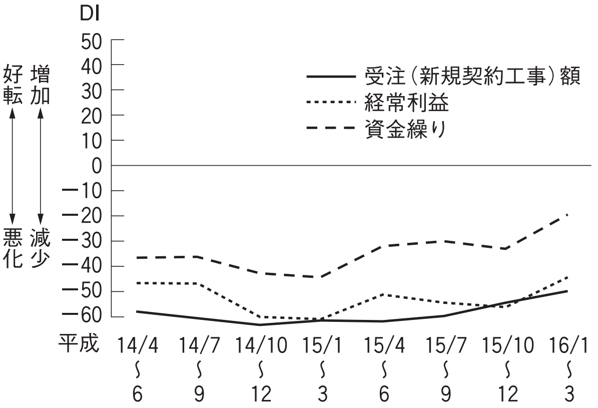
### 1. 概況（前年同期比）

業況は好転傾向。

平成16年１月～３期の業況を概観すると、前年同期と比べ、資金繰り、売り上げ、経常利益はともに好転傾向である。

【DI値】売上額、経常利益、資金繰りともにDI値はいずれもマイナスを示しており、水面下では依然停滞気味であるといえる。

主要項目の動向（前年同期比）




### 2. １月～３月期の動向

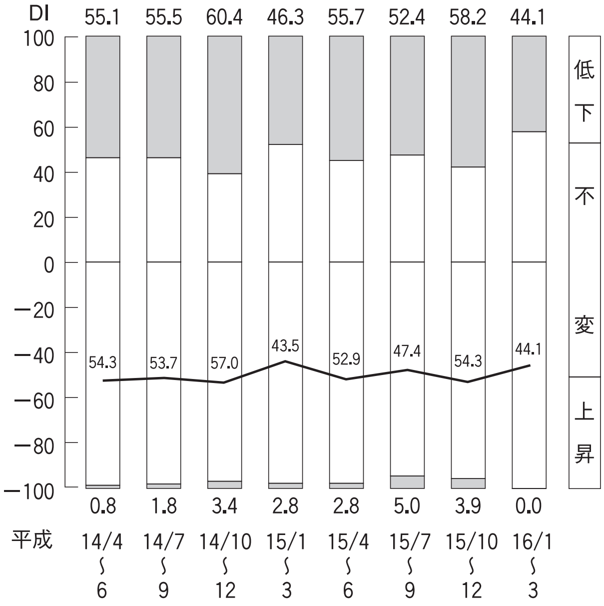
**(1) 売上額は増加（前年同期比）**

前年同期と比べた今期の売上額の増減状況については、増加した企業が5.4%、減少した企業が55.9%、DI値はマイナス50.5となっている。

**(2) 客単価は微減（前年同期比）**

前年同期と比べた今期の客単価については、上昇した企業0.0%、低下した企業44.1%、不変44.1%となっており微減している。

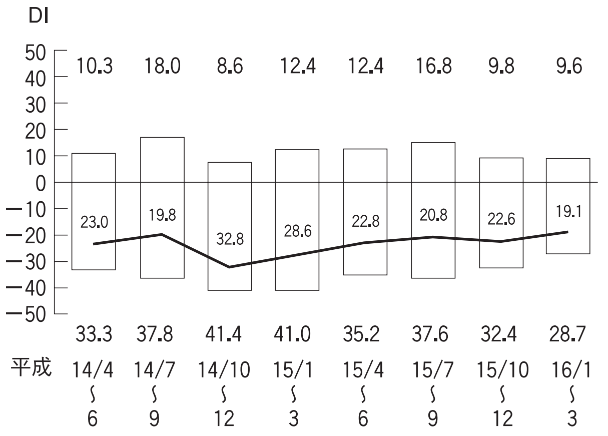
売上（加工）単価の動向　折線は「上昇」ー「低下」



### (3) 経常利益は微増（今期）

今期の経常利益の状況は、増加9.6%、減少28.7%で、DI値はマイナス19.1となり、前期のDI値マイナス22.6と比較して3.5ポイント増加しておりやや上昇傾向にある。

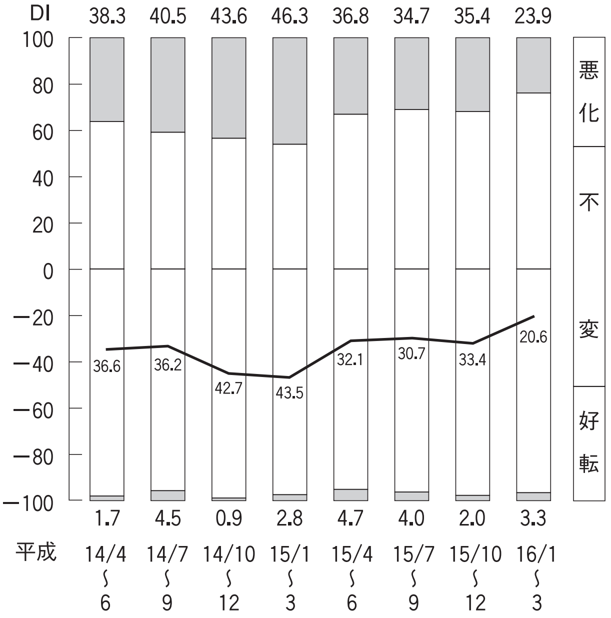
経常利益の水準　折線は「黒字」－「赤字」




### (4) 資金繰りはやや改善（前年同期比）

前年同期と比べた資金繰りの状況は、好転した企業3.3%、悪化した企業23.9%、DI値はマイナス20.6とやや改善傾向にある。

資金繰りの動向　折線は「好転」－「悪化」




## 3. 4～6月期の見通し

業況はやや好転傾向

今期と比べた来期の見通しについてみると、売上額、経常利益、資金繰りともに、やや増加傾向を示しており、業況は上昇傾向にある。

小売業　主要項目の来期の見通し

| 項目 | 期 1～3月期 | 期 4～6月期 | DI |
|---|---|---|---|
| 売上額 | → | ↗ | −35.4 |
| 経常利益 | → | ↗ | −41.9 |
| 資金繰り | → | ↗ | −25.8 |
| 業況 | → | ↗ | −43.8 |

小売　直面している経営上の問題点

| 期別順位 | 1位 | 2位 | 3位 |
|---|---|---|---|
| 平成15年 1～3月期 | 需要の停滞（28.4%） | 大・中型店の進出による競争の激化（20.2%） | 購買力の他地域への流出（14.7%） |
| 平成15年 4～6月期 | 需要の停滞（26.2%） | 購買力の他地域への流出（18.4%） | 大・中型店の進出による競争の激化（17.5%） |
| 平成15年 7～9月期 | 需要の停滞（32.0%） | 大・中型店の進出による競争の激化（17.5%） | 販売単価の低下・上昇難（12.4%） |
| 平成15年 10～12月期 | 需要の停滞（26.8%） | 大・中型店の進出による競争の激化（23.7%） | 購買力の他地域への流出（16.5%） |
| 平成16年 1～3月期 | 需要の停滞（23.9%） | 大・中型店の進出による競争の激化（21.7%） | 購買力の他地域への流出（20.7%） |

# 広島県内中小企業景況調査結果

# サービス業の景気動向

広島県商工会連合会

平成16年１月～３月期　実績
平成16年４月～６月期　見通し

## Ⅴ. サービス業の景気動向

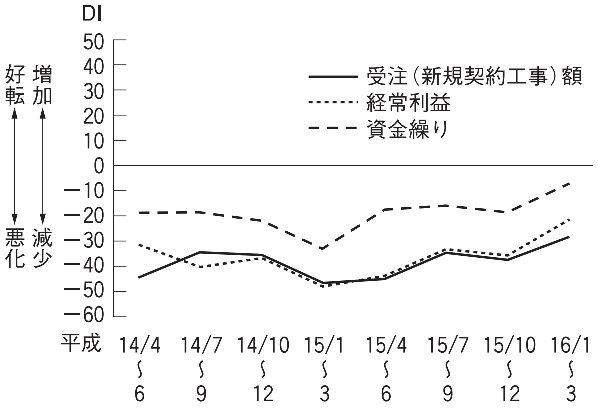
### 1. 概況（前年同期比）

業況は上昇。

平成16年１月～３月期の業況を概観すると、前年同期と比べ資金繰り、売上げ、経常利益ともには増加しており、全体として上昇傾向にある。

【DI値】売上（収入）額、経常利益、資金繰りともにDI値はいずれもマイナスを示しており、水面下では停滞している。

主要項目の動向（前年同期比）




### 2. １月～３月期の動向

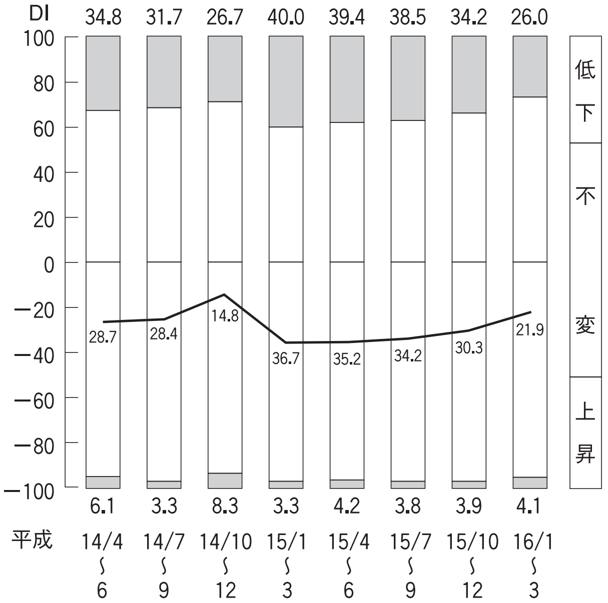
#### (1) 売上（収入）額は増加（前年同期比）

前年同期と比べた今期の売上（収入）額の増減状況については、増加した企業が17.8%、減少した企業が46.6%、DI値はマイナス28.8となっており、増加傾向にある。

#### (2) 客単価は増加（前年同期比）

前年同期と比べた今期の客単価については、上昇した企業4.1%、低下した企業26.0%、不変69.9%となっており、好転傾向にある。

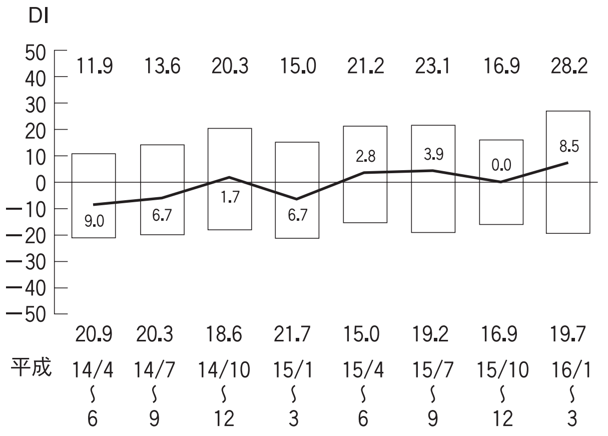
売上（加工）単価の動向　折線は「上昇」－「低下」



### (3) 経常利益は増加（今期）

今期の経常利益の状況は、増加28.2％、減少19.7％で、DI値はプラス8.5となり、前期のDI値0.0と比較して8.5ポイント増加し、前期に比べ、今期は増加傾向にある。

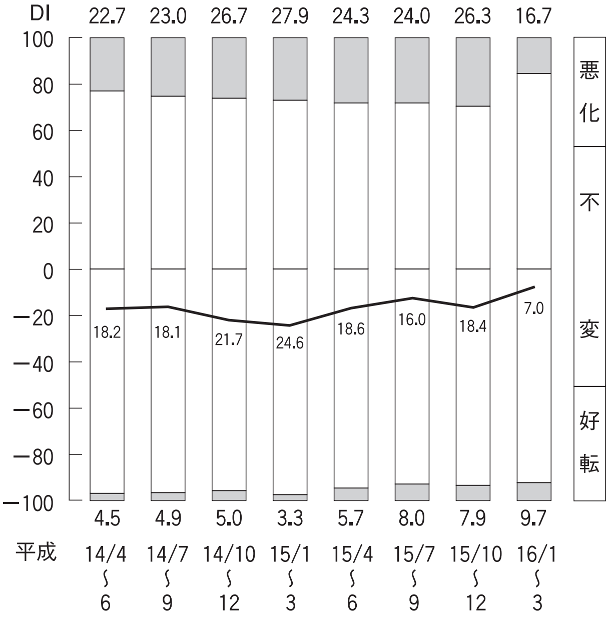
経常利益の水準　折線は「黒字」ー「赤字」




### (4) 資金繰りは上昇（前年同期比）

前年同期と比べた資金繰りの状況は、好転した企業9.7％、悪化した企業16.7％、DI値はマイナス7.0とマイナスを示しており、上昇傾向にある。

資金繰りの動向　折線は「好転」ー「悪化」




## 3. 4～6月期の見通し

業況は改善傾向

今期と比べた来期の見通しについてみると、売上額、経常利益、資金繰りとも改善を予想する企業が多く、来期の業況は改善傾向を示している。

サービス業　主要項目の来期の見通し

| 項目 | 期<br>1～3月期 | 期<br>4～6月期 | DI |
|---|---|---|---|
| 売上額 | ― | ↗ | −5.5 |
| 経常利益 | ― | ↗ | −8.4 |
| 資金繰り | ― | ↗ | −8.4 |
| 業況 | ― | ↗ | −13.9 |

サービス　直面している経営上の問題点

| 期別順位 | 1位 | 2位 | 3位 |
|---|---|---|---|
| 平成15年<br>1～3月期 | 需要<br>の停滞<br>(46.3%) | 利用者ニーズ<br>の変化への対応<br>(20.4%) | 店舗施設の狭隘･老朽化<br>新規参入業者への増加<br>(7.4%) |
| 平成15年<br>4～6月期 | 需要<br>の停滞<br>(49.2%) | 利用者ニーズの<br>変化への対応<br>(12.3%) | 利用料金の<br>低下・上昇難<br>(9.2%) |
| 平成15年<br>7～9月期 | 需要<br>の停滞<br>(41.1%) | 利用者ニーズの<br>変化への対応<br>(23.3%) | 利用料金の<br>低下・上昇難<br>(9.6%) |
| 平成15年<br>10～12月期 | 需要<br>の停滞<br>(38.6%) | 利用者ニーズの<br>変化への対応<br>(17.1%) | 新規参入業者<br>の増加<br>(11.4%) |
| 平成16年<br>1～3月期 | 需要<br>の停滞<br>(36.5%) | 利用者ニーズの<br>変化への対応<br>(23.8%) | 新規参入業者<br>の増加<br>(11.1%) |